

# Nikon Kenkyukai Tokyo Meeting

## Sの時代のフラッシュガン

山本

June 21, 2025



**NIKON KENKYUKAI TOKYO**

## はじめに

- ・1948年夏に発売されたニコンカメラ(後にI型)の画面サイズが変則的なニコン判24×32だったことから、コダック社からフィルム自動切断機に適合しないとの警告を受けた。<sup>(1)</sup> また、GHQは対米輸出を許さない事態となった。<sup>(2)</sup>
- ・そこで、フィルムのパーフォレーション送りが7個だったものをライカと同じ8個に変更し、画面サイズを24×34に拡大したM型を1949年10月に発売した。<sup>(2)</sup>
- ・1950年春、輸出先米国でM型にフラッシュシンクロ機能が無いことが問題になった。そこで、フラッシュシンクロ機構を追加したS型を1950年12月に発売した。<sup>(2)</sup>
- ・この時、フラッシュガンを同時に発売するため、荒川龍彦氏が光画荘の北野邦雄氏に紹介された島岡律氏に、ウエスト電気に加わってもらうことを前提に委託した。(ウエスト電気に100万円の前渡金が支払われた。)<sup>(1)</sup>
- ・S型と同時に発売されたフラッシュガンは「BCB型」とされるが<sup>(2)</sup>、この「BCB型」の詳細情報は得られていない。
- ・そこで、S型の時代のフラッシュガンについて「BCB型」を中心に調査を行った。



出典：(1) 荒川龍彦著；明るい暗箱、朝日ソノラマ、1975年

(2) 光とミクロと共に ニコン75年史・資料集、1993年

# ニコン フラッシュガンの製品史

発売時期	フラッシュガンの型式	備考
1950年12月	BCB型	S型の発売と同時
1951年7月	BCB I 型	
1952年7月	BCB II 型	
1954年11月	BC III型	12月S2型発売
1955年10月	BC IV型	



出典：(2) 光とミクロと共に ニコン75年史・資料集、1993年

# フラッシュガン BCB型 1950年12月発売

・日本光学工業四十年史 P.555 第V-31表によると、S型と同時に「フラッシュガン一型」が発売されたとの記載があるが、P.556の本文には、「S型Nikon発売と同時に、フラッシュガンBCB型を発売し、」とあり、呼称が統一されていない<sup>(3)</sup>。

(ニコン75年史<sup>(2)</sup> P.141 図3-6では「フラッシュガンBCB」に訂正されている。)

・落合泰之氏によると、「この最初のフラッシュガンは当時の写真によると、反射傘後部の部品が砲弾型になっていて、カメラ保持用のステーが脱着式になっていないようである。」とのことだが、現物の写真は無い<sup>(4)</sup>。

・久野幹雄氏によると、「初期の発光器はウエスト製である。」とのことだが、現物の写真は無い<sup>(5)</sup>。

カメラ	Nikon	I	型	M 型		S
	昭和	23	24	25	26	27
	トリフームモニターサマファインダ					
	フラッシュガン一型					
	単独ファインダ13.5					
	フラッシュガンBCB一型					
	トリフームモニターサマファインダ					
	単独ファインダ3.5					
	単独ファインダ8.5					
附	カセットバック					
	大型ケース					

日本光学工業四十年史 第V-31表

出典：(3) 日本光学工業株式会社四十年史、1957年

(4) 落合泰之著；ニコンカメラ、朝日ソノラマ、2005年

(5) 久野幹雄著；レンジファインダーニコンのすべて、朝日ソノラマ、1990年

# フラッシュガン BCB型

- ・アサヒカメラ1951年2月号に、「待望のシンクロニコン発売」とニコンS型の広告が掲載され、フラッシュガンを装着した写真がある<sup>(6)</sup>。
- ・「軽快なフラッシュガン」との記載のみで、BCBなどの形式名は記載されていない。



出典：(6)アサヒカメラ、1951年2月号

待望のシンクロニコン発売！

# ニコン

S 型

f/1.4 f/2



注文は最寄りの写真機店を通じてニコンカメラ特約店へお願いたしませう

全速度完全同調 ★ 軽快なフラッシュガン

世界一流の写真作家が 激賞し愛用する	13.5 cm f/4
<b>NIKKOR</b> ニコン用及ライカ用鏡玉	8.5 cm f/2
	3.5cm f/3.5
	万能ファインダー

日本光学工業株式会社

S型カタログ2月完成・要郵券

# フラッシュガン BCB型

- ・最近、BCB型と思われるもの入手して調査した。
- ・元箱に「FLASH EQUIPMENT FOR Nikon Model S」の記載があり、ステーの形状が前頁の広告のものと酷似していることから、日本光学が販売したBCB型と考えられる。
- ・全体に次頁のワルツフラッシュガンA型に酷似しており、Walz For Nikonの刻印がある。



# フラッシュガン BCB型

- ・アサヒカメラ1951年10月号に、ワルツフラッシュガンの広告が掲載されていた<sup>(7)</sup>。
- ・A型の形状が、落合氏の「反射傘後部の部品が砲弾型」との記述に合致している。
- ・また、Walz For Nikonの刻印があるフラッシュガンの形状と一致していることから、BCB型はワルツ商会フラッシュガンA型をOEM供給されたものと推定される。



出典：(7) アサヒカメラ、1951年10月号

科学的正確さを誇る  
ワルツフラッシュガン



—A 型—

1. A型は万能発光器でライカ、キヤノンのフォーカル及其他スプリングシャッター等あらゆる各種カメラに簡単に取付けられ、一度ダブルネジを調整するだけで完全同調します
2. 閃光電球挿入後スイッチ、シャッターレバーを操作しても閃光しない安全装置が施されています
3. 反射効率大なる光学的設計の美麗な反射笠がついております
4. セルフタイマーも使用出来て三脚の取付位置が重心上合理的に出来ています。

—B 型—

- A. シャッターに同調装置が施されたカメラと用いて設計したものです
- B. 外観の優美、テスト、取付換付の簡易、効率大なる反射笠、三脚取付位置の合理性、特殊トランスの使用可能客々はA型と同じです
- C. 閃光電球の断線試験と単独発光の合理的配置に加え、二燈、三燈の同時発光の可能なことも特徴の一つであります

Walz

株式会社 **ワルツ商会**

東京 都 中央区 日本橋 室町一の一六  
電話 日本橋 (24) 0 6 6 8 • 0 8 8 0

# フラッシュガン BCB型

・ニコン研究会2005年9月例会報告に、「日本光学純正のものから、珍しいワルツの製品も。流線型の美しい板金絞込み加工には、Waltz For Nikon の赤い鮮明な刻印。」との記載があるが<sup>(8)</sup>、元箱に「FLASH EQUIPMENT FOR Nikon Model S」の記載があり、純正品と推測。



上から、ニコン用ワルツ製フラッシュ、BCB-I型、BCB-II型の元箱入りフルセット

出典：(8) ニコン研究会 2005年9月例会報告

<https://redbook-jp.com/kenkyukai/2005b/200509.html>

# フラッシュガン BCB型

- ・「ニコンジャーナル」誌に、Jeffrey Felton氏による”THE 'WALZ' STORY”と題した報告<sup>(9)</sup>が掲載されていた。
- ・最初に発売された「Walz for Nikon」はキャパシターが使用されていないと報告している。



ワルツ製ニコン用フラッシュの刻印  
左が初期型、右が後期型らしい



左はワルツのみの刻印があり、  
ワルツブランドで販売されたもの



ワルツ製ニコン用フラッシュの元箱  
ラベルの色は青色とのこと



出典：(9) THE NIKON JOURNAL、115号、P.2-9、2012年3月

# フラッシュガン BCB型

- ・Jeffrey Felton氏によると、ロトローニ氏が所有する初期のニコンフラッシュユニット取説の写真から、Waltz For Nikon がニコン純正品として販売されたものと断定している。(9)

HOW TO USE  
THE Nikon CAMERA, MODEL S,  
WITH BUILT-IN FLASH  
SYNCHRONIZER

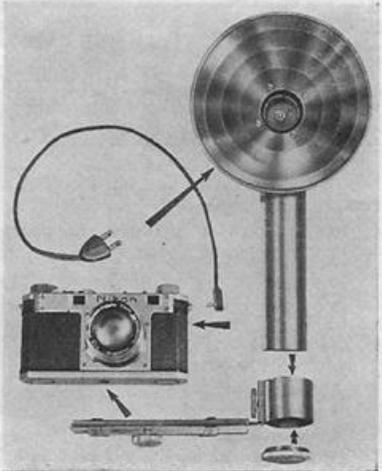
With the Nikon Camera, Model S, any marketed flash gun may be used, but the Nikon Flash Gun has specially been designed and therefore is more preferable.

1. The Nikon flash gun can be fixed to the camera with the ever-ready carrying case attached.
2. Push the smaller plugs on the connecting cord into sockets marked "F" on the camera, when fast shutter is used.

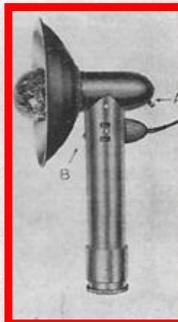


Push the smaller plugs on the connecting cord into sockets marked "S" on the camera, when slow shutter is used.

3. For both fast and slow shutter speeds, thrust the larger plugs on the connecting cord into yellow sockets found on the rear side of the flash gun. The gun is provided with 2 extra pairs of green socket holes on the sides, which are used with extension cords for additional lamps.
4. When a peanut-shaped midget bulb with a swan base is used, an attachment piece must be added to the lamp socket of the gun.



5. If it is desired to ascertain the satisfactory working of the gun beforehand, a test bulb supplied with the gun may be used.
6. For fast shutter speed, a flash bulb for focal plane shutter (say GN No. 6 or similar), and for slow shutter speed, an open flash bulb (say: GE No. 11 or similar) must be used.
7. The flash lamp is automatically lighted with the release of the shutter button, which must not be touched until all is ready.
8. When the flash gun lever (A in Fig.) is pressed down, the used bulb will automatically be released and drop off.
9. The flash gun may be operated independently, apart from the camera, by pushing the button (B in Fig.) on the front side of the gun.



**Important :**

1. Marketed flash guns are sometimes not insulated between the gun and the holder. It is important that the insulation be inserted, if it is absent.
2. For a shutter speed of 1/500 of a second or when more than two

flash bulbs are consumed on the circuit, increase the battery voltage to not less than 4.5 volts.

3. For shutter speeds of 1/20-1 sec, a strobo flash may alternatively be used with the smaller cord plugs in sockets "S" on the camera. It is essential to see that the synchro-time adjuster be correctly set prior to use of the strobo apparatus.

Shutter speed	Fast 1/20-1/500	Slow 1-1/8
Sockets on the camera to be used	"F"	"S"
Flash bulb to be used	Focal plane shutter bulb (GE No. 6 or similar)	Open flash bulb (GE No. 11 or similar)



**NIPPON KOGAKU K. K.**  
(JAPAN OPTICAL CO., LTD.)  
SHINAGAWA, TOKYO



出典：(9) THE NIKON JOURNAL、115号、P.2-9、2012年3月

# フラッシュガンBCB型のまとめ

- ニコンS型と同時に発売されたフラッシュガンは、ワルツ商会からOEM供給された。
- ワルツ商会フラッシュガンA型の広告にはキャパシターの記載がないこと、入手して調査したBCB型にキャパシターが使用された形跡が見られないこと、Jeffrey Felton氏が、最初に発売された「Walz For Nikon」発光器はキャパシターが使用されていないと報告していることから、電池のみでの発光だった。
- Jeffrey Felton氏は、「BCB」が何を示すのかについては明確な情報が無いが、Battery-Capaciter-Batteryを意味すると推測している<sup>(10)</sup>。  
(電池＋キャパシター発光と、電池発光の両方が可能、という意味)
- ワルツ商会製フラッシュガンはキャパシターが使用されておらず、「BCB型」の呼称は不適切で、「フラッシュガンー型」の呼称が正しいものと考えられる。



# フラッシュガン BCB I 型 1951年7月発売



ニコンS、BCB. (1型)

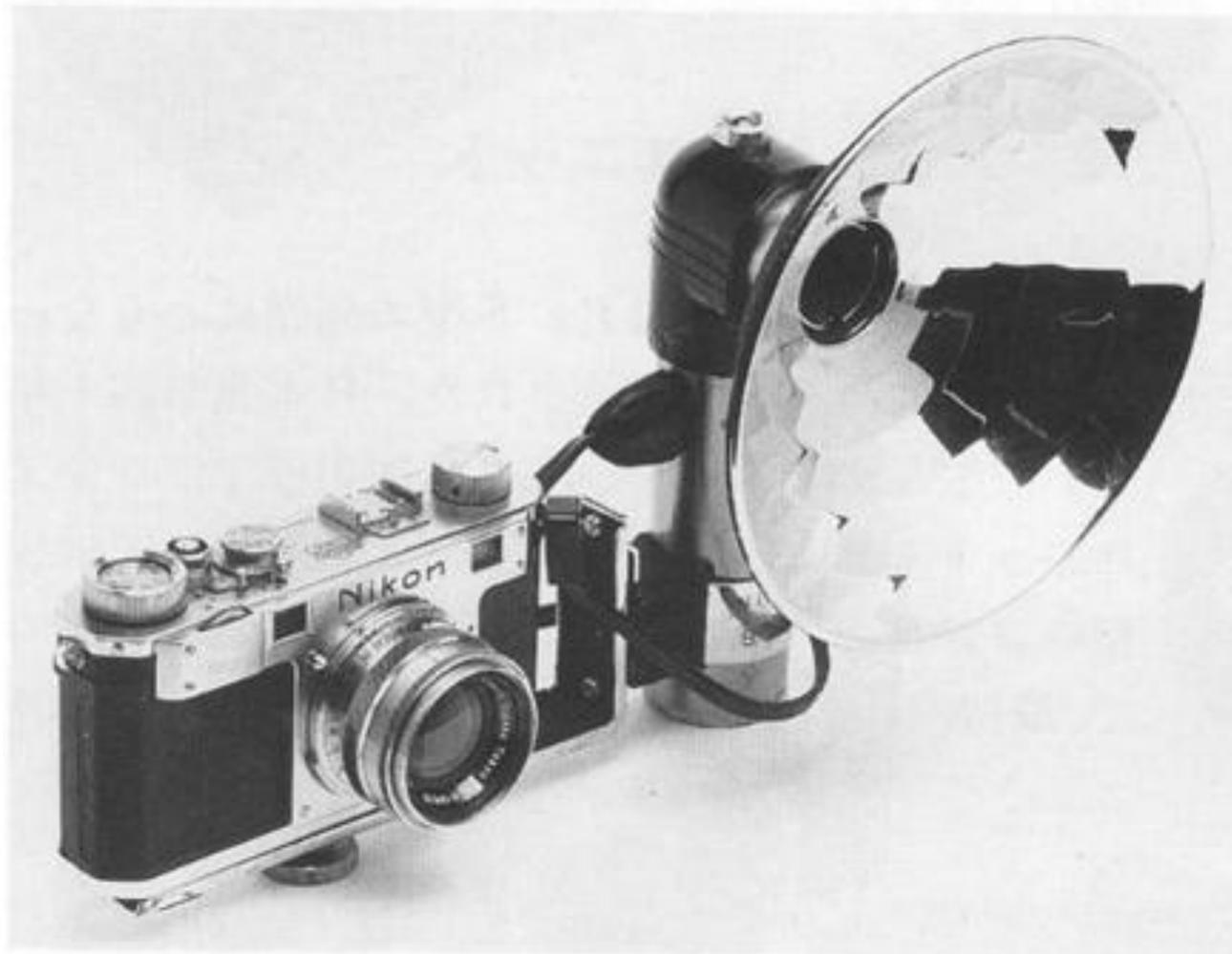


B.C.B. (1型)の  
使用説明書

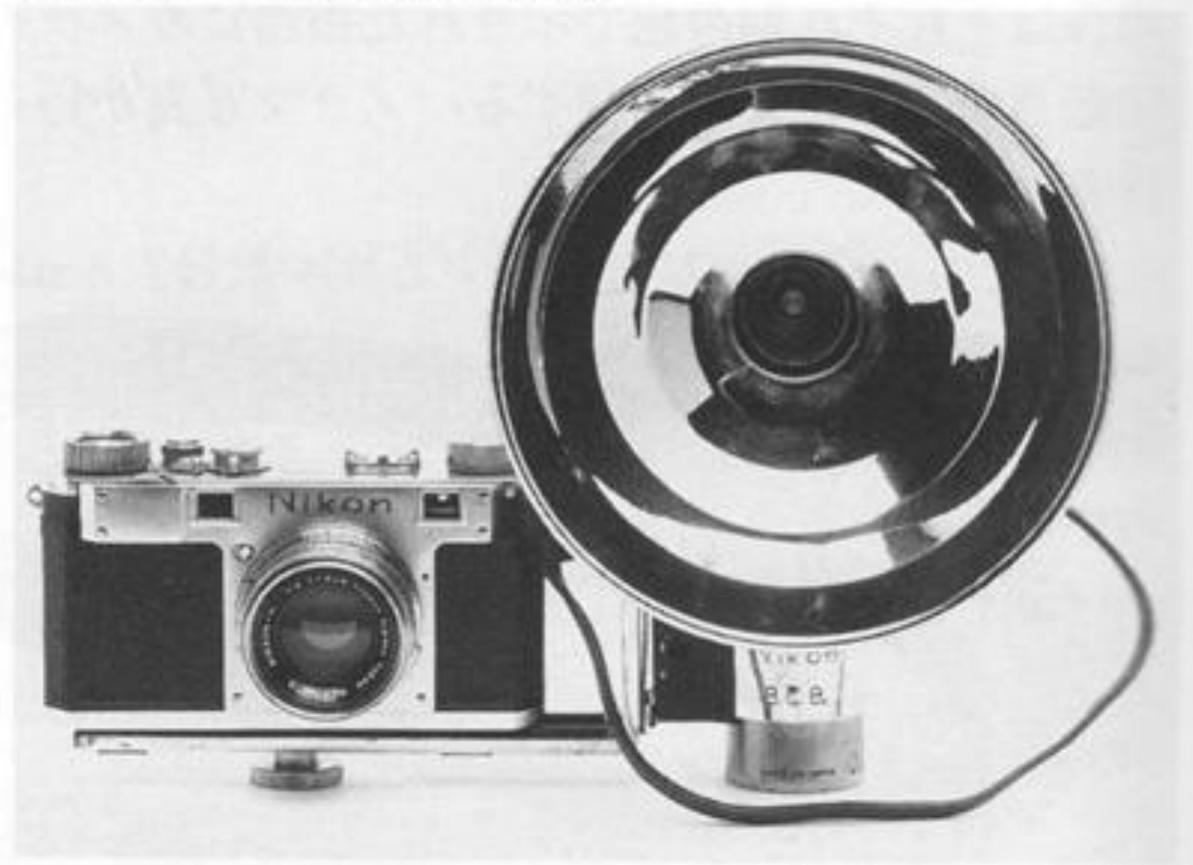


B.C.B. (1型)の箱

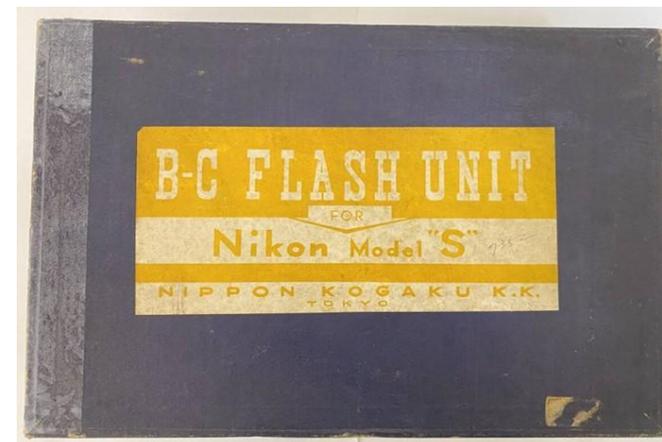
# フラッシュガン BCB I 型 1951年7月発売



フラッシュユニット BCB I 型を取り付けたニコンS型(左)。  
フラッシュユニット正面図(下)。



# フラッシュガン BCB II 型 1952年7月発売



出典：(4) 落合泰之著;ニコンカメラ、朝日ソノラマ、2005年

# フラッシュガン BCB II 型 1952年7月発売

1952年12月頃の広告(11)

## ニコンカメラS型用 新発売! BCフラッシュユニット

ヒヤリングエイド型積層乾電池使用

### B.C.B. II 型

#### II 型の特長

1. 電源に小型強力のヒヤリングエイド型積層乾電池を初めて使用
2. 反射笠はスワンベース用・エジソンベース用の2種を交換採用
3. 巧妙なる自動的チエツキングシステム



御熱望により  
II型ロライ用も発売  
ロライ用カスラホルダー  
ロライ製接続用コード付

日本光学工業株式会社

ニッコールレンズ愛  
用者の親善友好団体

 ニッコールクラブ

入会御案内送呈・東京都品川区大井森前町5447番地・ニッコールクラブ事務局

出典：(11)ニコンカメラの小(古)ネタ

<http://nikonfan.cocolog-nifty.com/blog/2013/06/bcb-iis-7539.html>

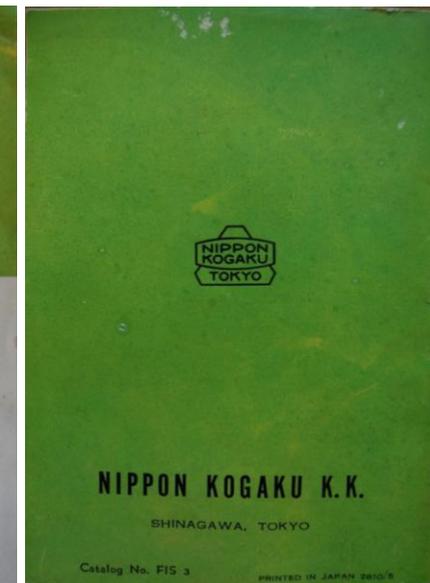
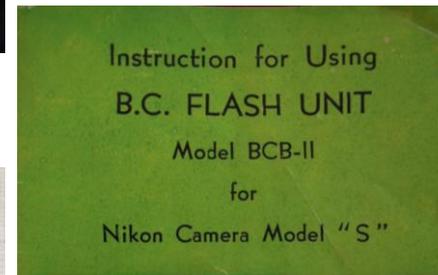


# フラッシュガン BCB II 型 1952年7月発売

- ・最近入手したBCB II 型。
- ・ウエスト社製と推測するが、ウエスト社を示す表示はどこにも見当たらない。
- ・日本光学はOEMであることを公表したくなかったものと推測。



シンクロコードに富士山マーク



# ウエスト真空製 B.C.B.強力発光器

- ・アサヒカメラ1951年3月号に掲載されたウエストB.C.B.強力発光器の広告<sup>(12)</sup>。
- ・樹脂部分、エゼクターの形状などが、日本光学BCB I 型およびII型に酷似している。
- ・1951年7月に発売された日本光学BCB I 型は、この発光器と推察される。
- ・広告には、特許・新案・意匠12件登録済又は出願中とあり、これが1950年12月のS型発売に間に合わなかった理由かもしれない。



出典：(12)アサヒカメラ、1951年3月号

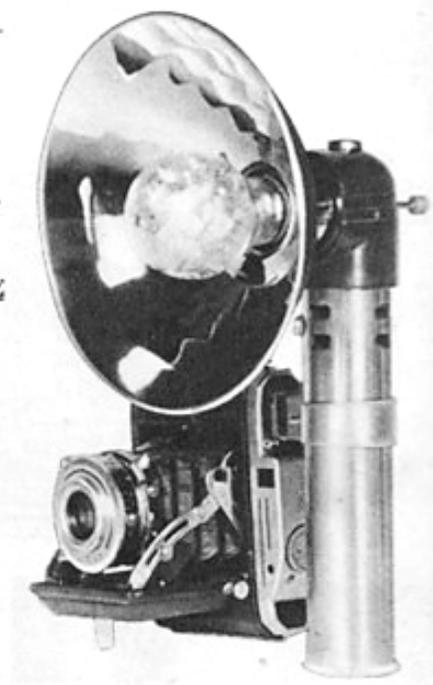
特許  
新案  
意匠  
12件  
登録済又は  
出願中

新らしい電気理論に基く  
**ウエストB.C.B.**  
強力発光器

・衝撃電流により閃光球のピークが一定し失敗を防止します  
・従来の発光器をこれに代るだけで一段高速度で同調します  
・電池の容量の増減が影響しません  
・閃光球を差込むだけで2-3秒間に充電を終ります  
・閃光球断線、回路の検電、等は科学的に標示出来ます  
・電池を増加せず多灯同時同調発光出来ます、遠距離シンク  
ロによるコードの抵抗が殆んど影響しません  
・電池を増加せず、多灯アタッチメントをつけるだけで拾灯迄  
発光出来ます  
・エヂソンベース、スワンベース共使用可能です  
・単一電池で使用する事も出来ます  
・強力反射笠で光力を増強し、便利な可変焦点装置です  
・完全エゼクター付

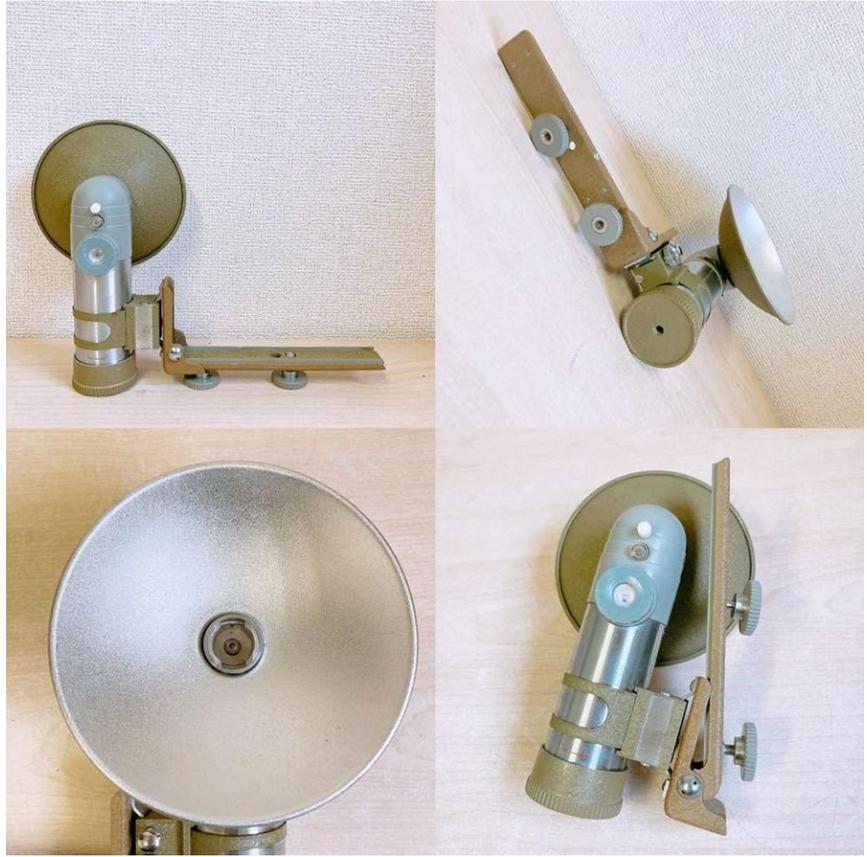
詳細な説明書在リ 要郵券 30円  
大阪市福島区海老江中三丁目七五

ウエスト真空株式会社



# フラッシュガン BCⅢ型 1954年11月発売

(1954年12月にS2型発売)



出典 : (13) <https://aucview.aucfan.com/yahoo/j1125851260/>

# フラッシュガン BCIV型 1955年10月発売



ニコンS2とB.C. IV型



B.C. IV型の箱。「with NIKON S2」と書かれている



B.C. IV型の革ケース

# ニコン フラッシュガンの製品史まとめ

発売時期	フラッシュガンの型式	特徴	備考
1950年12月	BCB型ではなく、「一型」が正しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Walz商会からのOEM供給</li> <li>・バッテリー発光のみ</li> <li>・単1×2本または3本で発光可</li> </ul>	S型の発売と同時
1951年7月	BCB I 型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単1サイズのキャパシター</li> <li>・単1サイズの積層電池(22.5V)</li> <li>・単1×2本または3本でも発光可</li> </ul>	ウエスト製
1952年7月	BCB II 型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単3サイズのキャパシター</li> <li>・小型積層電池BL-015(22.5V)</li> <li>・反射傘2種付属</li> <li>・単3または単1電池3本でも発光可</li> </ul>	ウエスト製
1954年11月	BC III 型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単3サイズのキャパシター</li> <li>・小型積層電池BL-015(22.5V)</li> <li>・乾電池のみでの発光は不可</li> </ul>	12月S2型発売
1955年10月	BC IV 型		



## まとめ

- ・ 1950年12月にS型と同時にフラッシュガンBCB型が発売され、短期間の内にBCB I 型、BCB II 型が発売された。
- ・ これらの中で、BCB型の情報が少ないことから、BCB型を中心に調査を行った結果、BCB型はワルツ商会からOEM供給されたものと判明した。
- ・ ワルツ商会製フラッシュガンはキャパシターを使用しておらず、BCB型の呼称は不適切で、「フラッシュガン一型」の呼称が正しいものと考えられる。
- ・ 「一型」(BCB型)の製造期間は1950年12月から1951年6月と短く、荒川氏の記述からみて、当初ウエスト社から供給される予定が間に合わず、ワルツ商会から供給を受けて販売を開始し、ウエスト社の準備が完了した1951年7月にBCB I 型を発売したものと推察する。

